



令和3年度の地域別 市民意見交換会は

議会では、令和3年11月29日から令和4年2月22日にかけて、行いました。

今回のぎかいだよりでは、議員定数の関係以外でいただいた

1 人口減少対策

市民

・高山市は、合併当時より人口が減少している。人口減少に対する対策は必要であるため、他市の対策を参考にしてほしい。

・高山市は、岐阜県内で移住者が一番多い自治体です。また、令和3年度から移住を検討している人が移住後に地域で安心して生活ができるよう、移住者と地域を橋渡しする高山市移住コーディネーターを設置し、移住者の支援を行っています。さらに移住者が増え、定住につながるよう魅力あるまちづくりや環境整備について調査研究します。

議会

2 防災

市民

・自然災害を未然に防ぐ対策の発案があってもいいのではないかと。
・昨年7月の豪雨で宮川防災ダムがオーバーフローしかけた。今後、想定外の降水量となった場合、下流域で大水害が起きるのではないかと。また、安全のためにも機能強化が必要ではないかと。



・自然災害を未然に防ぐには、防災情報の多様化により的確に情報伝達することや各地域での自助・共助を主体とした地区防災計画の策定で命を守る一層の取組の推進、インフラの予防的整備による安全対策などが求められます。さらなる防災対策の強化推進の取組について議論を深めます。

議会

3 公園整備

市民

・子どもが安心して遊べる魅力ある公園が欲しい。



・令和2年度の福祉文教委員会が公園のあり方に関する政策提言を行っています。市は今後の施設のあり方、配置計画及び新たな公園整備について考え方を整理することとしています。

議会

4 観光・労働

市民

・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光業は大打撃を受けている。いろいろ手は打っていただいているが今後も継続してほしい。

・滞在型の観光メニューの造成を強く意識しながら、緊急経済対策における助成制度も継続していくよう働きかけます。

議会

市民

・地元へ帰郷しようとしても就職先がない。企業誘致を進め、若者が帰郷したくなるようなまちづくり、働く場所の充実を。



・若者が帰郷したくなるためには、時流を踏まえた多様な職種の創出と所得水準の向上、社会保障制度の充実等により将来不安を和らげる方策を検討する必要があります。企業誘致は、日本経済の動向もみながら進めていくことが必要であると考えます。そうした環境が早く実現できるよう、産業・観光施策についても充実させていきます。

議会